

iPhone と iPad 用 Loopstack

Loopstack でできることのすべてと、その操作場所をまとめました。最初から順に読めばアプリの使い方がひととおり身につきます。気になるセクションに直接ジャンプしてもかまいません。

- | | |
|-------------------|-------------------------------------|
| 1. はじめに | 15. ソングを作る |
| 2. テンポ、長さ、トランスポート | 16. シーン |
| 3. ループを録音する | 17. ライブグリッドと全画面パッド |
| 4. サウンドを選ぶ | 18. セッションを録音する |
| 5. パッドを演奏する | 19. プロジェクトと iCloud |
| 6. コードとアルペジエーター | 20. 書き出しと共有 |
| 7. サウンドを作り込む | 21. MIDI キーボードとコントローラー |
| 8. ループを編集する | 22. Link、プラグイン、Loopstack Instrument |
| 9. 保存したループ | 23. iPhone から Loopstack Pro を演奏する |
| 10. パート | 24. iPad の場合 |
| 11. ドラム | 25. マイク |
| 12. サンプラー | 26. テーマ |
| 13. マイサウンド | 27. キーボードショートカット |
| 14. ミックス | |

1. はじめに

Loopstack を開き、**タップで開く**（または画面のどこか）をタップするとオーディオが始まります。前回のプロジェクトが、終了したときの状態のまま開きます。

新しいプロジェクトは 96 BPM、4/4 拍子で 4 小節、キーは C メジャーで始まります。メトロノームとカウントインはオン、ドラムはオフです。

画面はスクロールできる 1 枚のページで、いくつかのカードで構成されています。

- **トランスポートバー**は常に画面上部に固定されています。ステータス、テンポと小節、取り消し、停止、録音、再生のボタンがあり、ループ内の現在位置を示すルーラーも表示されます。
- **テンポカード**：テンポ、ループの長さ、拍子、「ソングに送る」。

- **INSTRUMENT**：パッドで鳴らす音と、パッドそのもの。
- **Layers**：あなたのループ。
- **DRUMS、Mix、SESSION**。

プロジェクト名の下には **スタック**、**シーン**、**ソング** のページタブと、**パッド**を全画面表示、**サウンド**を演奏して作り込む、**ライブ** の 3 つのボタンがあります。

取り消しはいつでもワンタップ。トランスポートバーの曲がった矢印です。長押しするとやり直しになります。何が変わったかは画面下部のメモに表示され、そこにも取り消しボタンがあります。
Loopstack は直近 30 ステップを記憶しています。

2. テンポ、長さ、トランスポート

トランスポート

- **再生** でループを再生し、もう一度押すと一時停止します。再び再生すると、止めた位置から続きを再生します。
- **停止** で停止し、先頭に戻ります。
- **録音** で新しいループを録音します（ループを録音するを参照）。

長さと拍子

長さ でループの長さを小節単位で設定します（1、2、4、8、16、32、64、128）。その横で拍子を選びます（4/4、3/4、5/4、6/8）。どちらもループを録音すると固定されます。変更するには **クリア** をタップしてスタックを空にしてください（取り消すこともできます）。

テンポ

テンポスライダー（40～220 BPM）をドラッグするか、**タップ** をリズムに合わせて何回かタップします。すでにループがある場合は、ピッチを保ったまま新しいテンポに合わせて伸縮されます。

メトロノーム と **カウントイン** で、クリック音と録音前の 1 小節のカウントをオン／オフします。

3. ループを録音する

録音 を押して演奏します。Loopstack は押した位置からループのちょうど 1 周分を録音し、先頭に折り返して始まった位置でループを閉じます。そのため、どのテイクもタイミングがぴったり合います。テイクが進むにつれて、録音ボタンの周りのリングが満ちていきます。

- 停止中に押した場合：カウントインがオンなら、まず 1 小節分のクリックが鳴ります。オフならすぐに録音が始まります。
- 再生中に押した場合：すぐに録音が始まります。

- テイクの途中で停止すると、未完成のテイクは破棄されます。

新しいループは **Layers** に Loop 1、Loop 2...として追加されます。ループは **16 個**まで重ねられます。

録音されるのは、あなたが演奏したものすべてです。パッド、MIDI キーボード、サンプラー、マイクのいずれでもかまいません。

ドライで録音（パッドの下）：オンにすると、聞こえているディレイとリバーブを含めずに新しいループを録音し、ループごとに専用の Dly と Rev スライダーが付くので、あとから調整できます。オフにすると、聞こえているエフェクトごとループに録音されます。

4. サウンドを選ぶ

INSTRUMENT カードには大きなボタンが 4 つあります。点灯しているものがパッドで鳴る音です。

- **鍵盤**：22 種類の録音された楽器。
- **シンセ**：Loopstack のシンセサウンド。
- **サンプラー**：自分でキャプチャまたは読み込んだサウンド（サンプラーを参照）。
- **マイク**：マイクからのライブ入力（マイクを参照）。

サウンド名の横にある ◀ ▶ の矢印で順に切り替えるか、タイルから選びます。サウンドはタブで棚ごとに分類されています。

- **鍵盤**：Pianos & keys、Bass & guitar、Strings、Winds、Mallets。グランドピアノ 2 種、アップライトピアノ、ハープシコード、オルガン、エレキベースとウッドベース、エレキギター、ストリングス、チェロ、ピチカート、ハープ、フルート、クラリネット、サクソフォン、フレンチホルン、ヴィブラフォン、マリンバ、グロッケンシュピール、カリンバを収録しています。
- **シンセ**：Keys & EP、Bass、Lead、Pluck、Pad、Noise（Noise にはトランジション用のライザー、インパクト、スウィープも入っています）。自分のサウンドを保存すると **Yours**（自分のサウンド）タブが表示されます。

ベース系の楽器を選ぶと、自動的に 2 オクターブ下がります。

鍵盤とシンセのブレンド

Blend Keys + Synth（鍵盤とシンセをブレンド）をオンにすると、録音された楽器とシンセサウンドを同時に演奏できます。**Keys ↔ Synth** スライダーでバランスを調整し、**シンセ OCT** でシンセを 1 オクターブ上下に移動します。ブレンド中は、鍵盤またはシンセをタップすると、タイルに表示するサウンドを切り替えられます。

サウンドの保存とリセット

Loopstack はすべてのサウンドへの変更を記憶しています。**リセット** でサウンドを初期状態に戻します。**サウンドを保存** で現在のサウンドに好きな名前を付けて、マイサウンドに保存します。

THE PADS PLAY（パッドで鳴る音）の行には、いま鳴っている音が常に表示されます。たとえば「Studio Grand + Warm Keys」のように表示されます。

5. パッドを演奏する

パッドは常にキーに合っているので、音を外すことはありません。複数の指で同時に演奏したり、パッドの上を指でスライドして触れたパッドを順に鳴らしたりできます。ルート音はハイライト表示されます。

レイアウト

- **ノート**：キーの 16 音。
- **コード + ノート**：スケールの各度数に対応する 8 つのコードパッドと、8 つのメロディ音が並びます。
⇒ ボタンでコードを左右どちらに置くかを入れ替えます。
- **Big 8**：1 オクターブを 8 つの大きなパッドに配置します。

キー、スケール、オクターブ

キーの下でルート音（C～B）とスケールを選びます。スケールは **メジャー**、**マイナー**、**クロマ**（全音）から選べます。－と＋のボタンでオクターブを上下それぞれ 3 段階まで移動します。

サステインとリリース

サステイン は画面上のサステインペダルです。タップしてオンにすると、もう一度タップしてオフにするまで音が鳴り続けます。**リリース** は指を離したあとに音が残る長さを設定します。

6. コードとアルペジエーター

コード

コードをオンにすると、どのパッドもキーに合ったコードを鳴らします。**トライアド**、**7th**、**9th** から選べます。

アルペジオ

アルペジオ は、押さえている音をテンポに合わせて 1 音ずつ順に鳴らします。

- **レート**：1/4、1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32（T は 3 連符）。
- **順序**：上昇、下降、**ピング**（上昇して下降）、**順序**（弾いた順）、**ランダム**、**ストラム**（ステップごとにコード全体をかき鳴らす）。
- **OCT**：パターンが上昇するオクターブ数（1～4）。
- **ゲート**（音の長さ）、**スウィング**、**アクセント**。

- ホールド をオンにすると、指を離してもパターンが鳴り続けます。パッドをタップするとパターンに追加され、点灯しているパッドをタップすると外れます。

7. サウンドを作り込む

INSTRUMENT カードの **シンセ** の行を開いてサウンドを作り込むか、**サウンドを演奏して作り込む** をタップすると、縦いっぱいのパッドの上にコントロールが並びます。

シンセのコントロール（シンセサウンドとブレンド時）

- **OSC 1** と **OSC 2**：2つのオシレーターの波形（Warm、Sine、Tri、Saw、Sqr、Pulse、Noise、FM）、2つ目のオシレーターのオクターブ、そして **ミックス**、**デチューン**、**カット**（フィルターのカットオフ）、**Q**（レゾナンス）、**FM**。
- **エンベロープ**：アタック、ディケイ、サステイン。
- **フィルター ENV** と **ピッチ ENV**：各音の鳴り始めにフィルターとピッチがどれだけ、どれくらいの速さで動くか。
- **LFO**：レート（またはテンポに **同期**）、深さ、波形（Sine、Tri、Square、Random）、そして動かす対象（ピッチ、フィルター、音量）。
- **ボイス**：ユニゾン（音に厚みを出す）とグライド（音と音が滑らかにつながる）。
- **ドリフト** と **グリッチ** で、動きと個性を加えます。

すべてのサウンド共通

- **音量**、**パン**、**ディレイ**、**リバーブ**、**コーラス**。
- **リバーブ** のタイプ：Room、Plate、Hall、Space、Massive。
- **チューン**：基準ピッチ（428～452 Hz）。
- **テープ**（温かみのあるサチュレーション）と **ウェア**（古いテープのようなワウ、フラッター、ピッチの揺れ、ドロップアウト）。
- **サステイン**（録音された楽器用）：自然な減衰からペダルを踏んだ状態まで。
- **プラグイン FX**：他のアプリの Audio Unit エフェクトを1つ追加します（プラグインを参照）。

8. ループを編集する

各ループには **Layers** に1行ずつ割り当てられ、名前、波形、次のボタンが表示されます。

- **リバーズ** で逆再生、 $\frac{1}{2}$ で半分の速度で再生します。
- **ミュート**、**ソロ**、**削除**。
- **スライダー**：音量、パン、ディレイ、リバーブ、ドライブ、トーン（暗く／明るく）、パンチ。

テイク

ループの名前を長押しして **新しいテイクを録音** を選びます。以前のテイクは残ります。テイクがあるループでは、番号をタップして切り替えたり、+ をタップして別のテイクを録音したりできます。Loopstack は以前のテイクを 8 つまで保持します。

モーフ

モーフ を開くと、ループをリアルタイムに変化させられます。録音そのものは変更されません。

- **フィルター**：左でローパス、右でハイパス、中央でオフ。
- **クラッシュ**：ローファイなビットクラッシュ。
- **エコー**：このループだけにかかるピンポンエコー。
- **幅**：モノラルから、録音時より広いステレオまで。
- **リピート**：1/4、1/8、1/16、1/32 のビートリピート。
- **ゲート**：6 種類のパターンによるリズムカルなチョップ。

シェイプ

シェイプ は、元の録音からループを作り直します。タイミングは常にぴったりです。**スピード** (1/2x、1x、2x、逆再生)、**フィット** (1、2、4 小節に収める)、**ピッチ** (上下最大 12 半音) を選べます。取り消すと元に戻ります。

録音後にループのサウンドを変える

鍵盤やシンセで演奏したループは、ノートを記憶しています。

- **...で演奏** は、いま選んでいるサウンドでノートを再演奏します。
- **サウンドを編集** は、そのループ自身のサウンドを鍵盤に読み込みます。何かを変更すると、少し後にループが新しいサウンドで鳴ります。終わったら **完了** をタップします。
- サンプラーのループには **このサンプルでヒットを演奏** があります。

クオンタイズ

クオンタイズ はループのノートを拍に揃えます。1/8、1/8T、1/16、1/16T、1/32 にスナップするほか、半分だけ揃えて演奏のノリを残すこともできます。

バウンス

2 つ以上のループが鳴っているときに **バウンス** を使うと、ミックスとエフェクトを含めて 1 つのループにまとめ、空きを作れます。ミュート中のループとドラムは含まれません。取り消すと元のループに戻ります。

9. 保存したループ

Layers のヘッダーにあるトレイのアイコンをタップすると **保存したループ** が開きます。これらのループを **保存...** を使うと、すべてのループをテイク、ノート、サウンド、設定ごとライブラリに保存し、どのプロジェクトでも使えるようになります。

保存したセットで **読み込む** を選ぶと、スタックが置き換わります（テンポと長さもセットのものになります）。スタックに追加は、テンポ、長さ、拍子が一致し、空きがある場合に、いまのスタックにループを追加します。スワイプすると削除できます。

10. パート

1つのプロジェクトには最大 8 つのパート（Part A、Part B...）を作れます。パートごとにループ、テンポ、長さ、拍子を持てるので、たとえば A メロとサビを分けて作れます。Layers のヘッダーにあるパートメニューで切り替えたり、**新しいパート** を追加したり、削除したりします。パートを切り替えると先頭から再生が始まり、取り消し履歴はクリアされます。

11. ドラム

DRUMS カードをオンにするとビートが加わります。リストからキットとグルーヴを選びます。

- **13 種類のキット**：Dusty、Crunch、Neon、FM、Acoustic、Studio、Hand、Rock、Jazz、Brushes、Club、Pop、Boom。
- 拍子ごとの**グルーヴ**：4/4 では Four on the Floor や Boom Bap から Footwork、DnB Break まで 30 種類。さらに 3/4 のワルツ、6/8 と 5/4 のグルーヴもあります。

ジャムとフィル（4/4）

フィル は次の小節で 1 小節のブレイクを鳴らします。長押しするとフィルの種類（Snare roll、Tom run、Break fill、Hat choke）を選べます。**ジャム** はドラマーのようにドラムを演奏します。小節ごとにグルーヴに変化をつけ、8 小節ごとに半小節のフィルを入れ、16 小節ごとに関連するグルーヴへ移ります。

ビートを編集する

ステップ を開くと、グルーヴを自分用に編集できます。編集したものは **マイビート** として保存されます。

- ドラム（Kick、Snare、Hat、Open Hat、Clap、Rim、Tom、Perc）を選び、ステップをタップしてオン／オフします。
- ステップを長押しすると、**ボリューム**（Loud、Normal、Soft）、**再生** する頻度（常に、75%、50%、25%）、**ロール**（×2、×3、×4）を設定できます。
- 1 小節か 2 小節かを選び、**スウィング** を加えます。

- 各ドラムのサウンドメニューで、音をキット内の別の音、オーディオファイル、サンプラーのサウンドに差し替えられます。

ドラムのサウンド

キット全体の音はスライダーで調整します：コンプ、ドライブ、ダート、ヴァイナル、ルーム、テープ、ウェア、ピッチ。

12. サンプラー

INSTRUMENT カードで **サンプラー** をタップします。サウンドは次のいずれかの方法で取り込みます。

- **サンプルをキャプチャ** は、マイクから最大 6 秒を録音します。
- **読み込み、ファイルを読み込み...** は、「ファイル」アプリからオーディオを読み込みます（最大 60 秒）。
- **読み込み、1サイクルをリサンプル** は、鳴っているすべての音、または 1 つのループを 1 周分録音します。
- **ドラム** のチップを使うと、任意のドラムキットをチョップとして読み込み、パッドごとに 1 つのドラムを割り当ててフィンガードラムを楽しめます。

ノーマライズ は、クリップしない範囲でサンプルを最大の音量にします。

ピッチモードとチョップモード

- **ピッチあり**：楽器のように、パッドでサンプルをキーに沿って上下の音程で鳴らします。
- **チョップ**：サンプルを最大 16 個のチョップに分け、パッドごとに 1 つ割り当てます。ヒット時（各音の鳴り始め）または **イーブン**（均等に分割）でカットするか、**同期** をオンにして、まずサンプルをプロジェクトのテンポに合わせて伸縮します。同期を長押しすると 1、2、4、8 小節から選べます。

チョップを編集する

波形上でチョップをタップすると試聴でき、線をドラッグすると位置を動かせます。ダブルタップで新しいチョップを追加します。ピンチでズームイン、2 本指でドラッグして移動、2 本指でダブルタップすると全体表示に戻ります。

パッドを長押しする（または ... メニューを使う）と、チョップエディタが開きます。

- **パッド**：レベル、パン、鳴らし方（ワンショット、ホールド、ループ）、チョークグループ、リバーブ、次の音でカット。
- **チューン**：ピッチ、ファインチューン、チョップの開始位置と終了位置。
- **フィルター**：ローパスまたはハイパス、カットオフ、レゾナンス。
- **アンプ**：アタックとリリース。

エディタからは **サウンド**として保存したり、**ドラムに使う** でチョップをドラムキットに入れたりできます。

ノートリピート

パッドの下にある **リピート** は、押さえているパッドをテンポに合わせて連打します（1/4～1/32、3 連符あり）。リピートも録音されます。

13. マイサウンド

シンセのタブの横にあるグリッドボタンで **マイサウンド** が開きます。保存した **キット**、**サンプル**、**鍵盤のサウンド** が並んでいます。タップで読み込み、スワイプで名前の変更や削除ができます。削除したサウンドは 30 日間 **最近削除した項目** に残ります。

14. ミックス

Mix カードでは、**マスター**、**鍵盤**、**ループ**、**ドラム**、**メトロノーム** のレベルと、**マスターエフェクト**を設定します。

- **グルー**：全体をまとめる穏やかなコンプレッション。
- **ラウドネス**：最大 9 dB まで音圧を上げます。
- **フィルター**：DJ フィルター。左でローパス、右でハイパス。
- **パンプ**：サイドチェイン・コンプレッションのように、拍ごとに鍵盤とループの音量を下げます。
- **幅**：ステレオ幅を狭く／広くします。

リミット のランプは、**リミッター**がレベルを抑えているときに点灯します。強くかかっているときは赤くなります。

15. ソングを作る

ソングはブロックで組み立てます。各ブロックは、スタックを 1 周分、鳴っていたとおりに記録したものです。

- **ソングに送る**（テンポカード）は、1 周分を 1 つのブロックとして追加します。
- **ソングに録音** は、停止するまで、演奏しながらミュートや解除、変更を加えた各周回をそれぞれ 1 つのブロックにします。小節の頭から始まります。

ソング ページでは、大きな再生ボタンでソングを再生します。ブロックごとに繰り返し回数（1～32）の設定、上下への移動、複製、削除ができます。**ソングを書き出し** で **WAV**（最高音質）または **M4A**（共有向けの小さなファイル）として保存します。

16. シーン

シーンは、スタックのバージョンをそれぞれ保持するパッドで、ライブ中に切り替えて使います。トランスポートの下にある **Send to Scenes**（シーンに送る）をタップすると、いま鳴っている状態のスタックが保存され、シーンページが開きます。

- **バンク A** と **バンク B** の 2 つのバンクがあり、それぞれ 16 個のパッドがあります。
- パッドをタッチすると起動または停止します。**起動** で、今すぐ始めるか、次の小節から始めるかを設定します。
- **Pick up**（位置を引き継ぐ）をオンにすると、切り替えても小節内の位置が保たれます。
- パッドを長押しすると、名前の変更、色の設定、再生する内容（ループとドラム、ループのみ、ドラムのみ）の選択、クリアができます。
- **すべて停止** ですべてを停止します。

プロジェクトを同期すると、シーンは Loopstack Pro と共有されます。

17. ライブグリッドと全画面パッド

ライブ は、すべてのループとドラムを並べたグリッドに画面を切り替え、パフォーマンスに使えます。タイルをタップするとイン／アウトします。小節頭で がオンのときは、変更が次の小節まで待機します（もう一度タップするとキャンセル）。ドラムの列には、グルーヴ、キット、ジャム、フィルがあります。**すべてオン** ですべてを一度にインにします。**ソングに録音** と **To Scenes**（シーンへ）はメインページと同じように使えます。

パッドを全画面表示 では、トランスポートと大きなパッドだけが表示されます。

18. セッションを録音する

SESSION カードは、ループ、ドラム、ライブ演奏など、聞こえているものすべてを 1 つの WAV ファイルに録音します。**セッションを録音** をタップして演奏し、**停止** を押してから **Save or share**（保存または共有）を選びます。テンポカードのテープボタンでも同じことができます。

19. プロジェクトと iCloud

上部のプロジェクト名をタップすると **プロジェクト** が開きます。プロジェクトは自動的に保存されます。

- **新規** でプロジェクトを新しく始めます。
- プロジェクトをスワイプまたは長押しすると、名前の変更、複製、削除ができます。
- **iCloud** をオンにすると、同じ Apple アカウントでサインインしているすべての iPhone と iPad でプロジェクトとサウンドが使えるようになり、Mac の Loopstack Pro でも開けます。1 つのプロジェクトは、一度に 1 台のデバイスで作業してください。

20. 書き出しと共有

- **ソング**：ソングページの **ソング**を書き出し で、WAV または M4A として書き出します。
- **ステム**：スタックページ下部の **ステムを共有** で、ループとドラムごとの WAV ファイルに加え、鍵盤やサンプラーで演奏した各ループのノート MIDI ファイルにまとめた ZIP を作成します。どの DAW にも取り込めます。
- **パフォーマンス**：セッションの録音（上記参照）。

21. MIDI キーボードとコントローラー

USB MIDI キーボードをつなげば、設定なしですぐに演奏できます。Bluetooth キーボードの場合は、パッドの下にある MIDI の行で **Bluetooth** をタップしてペアリングします。

- ベロシティ、サステインペダル、ピッチベンド、モジュレーションホイールにすべて対応しています。キーボードではすべての音を弾けます。キーとスケールの設定は画面上のパッドにのみ適用されます。
- MIDI チャンネル 10 のノートはドラムキットを鳴らします（General MIDI のドラムノート）。そのため、パッドコントローラーでドラムを演奏できます。

MIDI ラーン

スライダーの **名前**を長押しして **MIDI ノブに割り当て** を選び、コントローラーのノブを回します。割り当て済みのスライダーには小さな MIDI タグが表示されます。割り当てを解除するには、もう一度名前を長押しします。割り当てはプロジェクトをまたいで記憶されます。

22. Link、プラグイン、Loopstack Instrument

Ableton Link

テンポカードの **Ableton Link** をタップすると、同じ Wi-Fi 上の他の Link 対応アプリと接続します。全員が同じテンポを共有し、タイミングが揃います。

Audio Unit プラグイン

Loopstack では、インストール済みの他のアプリの楽器やエフェクト（Audio Unit 拡張）を使えます。**OTHER APPS**（他のアプリ）の下で **プラグイン...** をタップすると楽器を読み込み、**プラグイン FX** の下でエフェクトを読み込みます。**表示** でプラグイン独自の画面を開きます。プラグインはプロジェクトと一緒に保存されます。

Loopstack Instrument

Loopstack には独自の Audio Unit、**Loopstack Instrument** が付属しており、Loopstack のシンセサウンドをすべて収録しています。GarageBand、Logic Pro for iPad、AUM など楽器をホストできるアプリで読み込み、サウンドを選んで **スペース** と **ボリューム** を調整します。

23. iPhone から Loopstack Pro を演奏する

Mac で Loopstack Pro を使っている場合、iPhone や iPad から演奏できます。Mac ではシーンページで **iPhone と iPad からこの Mac を演奏できるようにする** をオンにします。iPhone ではプロジェクトを開き、**Mac で Loopstack Pro を演奏** をタップします。両方が同じ Wi-Fi に接続されている必要があります。

- **シーン**：16 個のパッドから Mac のシーンを起動します。バンク、すべて停止、録音、ライブエフェクトも使えます。
- **鍵盤**：Mac の楽器を鳴らす 2 オクターブの鍵盤。

24. iPad の場合

横幅の広い iPad の画面では、Loopstack は 2 カラムのスタジオになります。左にテンポと楽器、右にループ、ドラム、ミックスが並び、トランスポートはヘッダーに表示されます。パッドも大きくなります。小さめの iPad の縦向きや Split View では、1 カラムのレイアウトになります。

25. マイク

INSTRUMENT カードで **マイク** をタップし、マイクへのアクセスを許可すると、声や楽器をそのままループに録音できます。**モニター** で自分の音を聞けます。ヘッドフォンを使ってください。スピーカーではハウリングが起きます。

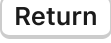
マイクはオンにしたときだけ使われます。Loopstack はアプリを離れたり iPhone をロックしたりしても再生を続けますが、マイクがオンのときは例外です。

26. テーマ

プロジェクトを開いてテーマを選びます。Loopstack、Console、Fjord、Paper のほか、**テーマを増やす** の中に Neko、Dusk、Phosphor、Teletext、Graph、Legal、Engineer、Gothic があります。

27. キーボードショートカット

iPhone や iPad にハードウェアキーボードを接続している場合：

キー	動作
	再生／一時停止
	録音
	停止

Z / X	オクターブを下げる／上げる
C / V	弱く／強く（ベロシティ）
A S D F ... と W E T Y U	パッドを演奏（クロマチックではピアノ配列）
⌘ Z / ⌘ Z	取り消す／やり直す

まだ解決しない場合は、サポートにお問い合わせいただくか、ガイドをお読みください。